

# 湯浅茂雄教授 業績目録

## 1. 学術論文(単著)

- (1) 『古事記伝』における体・用・辞
  - (2) 本居宣長の活用論
  - (3) 『増補訂正英和字彙』の訳語―特に増補された訳語の典拠を中心に―
  - (4) 蘭学資料の語彙―『舎密開宗』の用語を中心に―
  - (5) 節用集の語彙
  - (6) 口語資料としての『古今集遠鏡』
  - (7) 『工学字彙』の訳語とその造語要素の性格―明治期の学術用語の造語法(1)
  - (8) 『工学字彙』の造語パターン―明治期の学術用語の造語法(2)
  - (9) 明治期の専門用語と漢字
- 上智大学文学部国文学科『国文学論集』一二号 一九七九年1月  
上智大学文学部国文学科『国文学論集』一三号 一九八〇年2月  
上智大学文学部国文学科『国文学論集』一四号 一九八一年2月
- 『講座日本語の語彙五 近世の語彙』明治書院 一九八二年6月
- 『講座日本語学五 現代語彙との史的対照』明治書院 一九八二年12月
- 『ノートルダム清心女子大学国語国文学科』『古典研究』一〇号 一九八三年3月
- 『ノートルダム清心女子大学紀要 国語国文学編』第九卷第一号(通卷一八号) 一九八五年3月
- 『ノートルダム清心女子大学紀要 国語国文学編』第二〇卷 第一号(通卷一九号) 一九八六年3月
- 『漢字講座八 近代日本語と漢字』明治書院 一九八八年10月

- (10) 雅俗対訳辞書類の俗語の性格―鈴木胤『雅語  
「国語語彙史の研究」』九 和泉書院 一九八八年11月  
「雅語語彙史の研究」九 和泉書院
- (11) 雅俗対訳辞書類の俗語の性格―萩原廣道『古  
言訳解』を資料として(発表要旨) 『国語学』一五六 一九八九年3月
- (12) 国語資料としての『雅語訳解』 『文莫』第一六号 一九九一年7月
- (13) 萩原廣道『古言訳解』の俗語訳と方言語彙 『辞書・外国資料による日本語研究』和泉書院 一九九一年8月
- (14) 雅俗対訳資料における俗語の共通的性格 森岡健二編『近代語の成立 文体編』明治書院 一九九一年10月
- (15) 雅俗対訳資料と語彙研究―『雅語訳解』『古  
言訳解』を資料として 『日本近代語研究』一 ひつじ書房 一九九一年10月
- (16) 「小説」(特集 近代代語の語源) 『日本語学』第一二卷第七号 明治書院 一九九三年6月
- (17) 生田長江編『文学新語小辞典』と新語辞典類 『国語語彙史の研究』一三 和泉書院 一九九三年7月
- (18) 語彙(理論・現代)特集―平成4年・平成5  
年における国語学界の展望 『国語学』一七七 一九九四年6月
- (19) 『言海』と近世辞書 平成6年度国語学会春  
季大会発表要旨 『国語学』一七九 一九九四年12月
- (20) 江戸時代の辞書 西崎亨編『日本古辞書を学ぶ人のために』世界  
思想社 一九九五年5月
- (21) 辞書と言語文化 『国文学 解釈と教材の研究』第四一卷一―一  
号 学燈社 一九九六年9月
- (22) 『言海』と近世辞書 『国語学』一八八 一九九七年3月
- (23) 近代・現代(語彙)(平成8年度国語国文学  
会の展望Ⅱ) 『文学・語学』一五七 一九九七年10月

- (24) 国語史資料としての『訓訳示蒙』 「訳」言 『実践國文學』 第五十四号 一九九八年10月
- (25) 『言海』 『大言海』 語源説と宣長 『古事記伝』 『実践國文學』 第五十五号 一九九九年3月
- (26) 『増補俚言集覽』 増補語彙依拠資料考 『実践國文學』 第五十七号 二〇〇〇年3月
- (27) 江戸の国語辞典あれこれ 『しにか』 第一一卷第三号 二〇〇〇年3月
- (28) 近代語研究の要点と課題 『日本語学九月臨時増刊号 日本語史研究入門』 二〇〇一年9月
- (29) 『増補訂正和英英和語林集成』 「和英の部」の増補と『和訓栞』 『雅言集覽』 『官版語彙』 『国語学』 二〇〇八年 二〇〇二年1月
- (30) 外来語の表記 『現代日本語講座 第六卷文字・表記』 明治書院 二〇〇二年5月
- (31) 語彙研究史 『朝倉日本語講座四 語彙・意味』 朝倉書店 二〇〇二年10月
- (32) 英和字彙系の一書、『新撰英和字典』の資料 『日本近代語研究』 四 ひつじ書房 二〇〇五年6月
- (33) 蘭学・英学における翻訳法と日本語 『実践英文学』 第五十九号 実践英文学会 二〇〇七年2月
- (34) 下田歌子先生『国文小学読本』における品詞分類意識について 『実践女子大学・実践女子短期大学後援会 会報』 二〇〇八年2月
- (35) 『言海』のネコ―辞書史における近世と近代― 『りんどう』 第三十三号 実践国文科会 二〇〇八年7月
- (36) 大槻文彦（人物でたどる日本語学史） 『日本語学』 第三五卷第四号（通卷四五二号） 『実践國文學』 第九一号（研究余滴） 二〇一六年4月
- (37) 鈴木胤『雅語訳解』の刊行年について 『日本語学』 第三六卷一二号（通卷四七三三号） 『実践國文學』 第九一号（研究余滴） 二〇一七年3月
- (38) 明治期における語彙の更新（日本語150年史） 『シリーズ〈日本語の語彙5〉近代の語彙I（四民平等の時代）』 二〇一七年11月
- (39) 『言海』と『日本大辞書』の語彙 『シリーズ〈日本語の語彙5〉近代の語彙I（四民平等の時代）』 二〇二〇年7月
- (40) 『言海』 『日本大辞書』の収録語数をめぐって 『実践國文學』 第一〇〇号（研究余滴） 二〇二一年10月
- (41) 山田美妙『日本大辞書』の方言語彙 『実践國文學』 第一〇一号（研究余滴） 二〇二二年3月

## 2. 著書

- (1) 『明治期専門術語集』〔単著〕全六冊のうち第四冊（『工學字彙』担当 六種の対訳専門術語集の覆刻と、それぞれの分担者による語彙索引による語基索引・論文よりなる）  
有精堂出版 一九八五年9月
- (2) 『新版文章構成法』〔共著〕応用編「デイベートル」の執筆と全体の編集  
東海大学出版 一九九五年12月
- (3) 『ことばの探検V―新語・流行語・隠語 生まれることば死ぬことば』〔単著〕  
アリス館 一九九七年4月
- (4) 下田歌子『女子の心得』（校注）〔単著〕  
『新編下田歌子著作集 女子の心得』三元社 二〇一八年3月

## 3. 索引・目録

- (1) 鈴木胤『雅語訳解』俗語自立語索引（ア行）  
夕行）  
『ノートルダム清心女子大学紀要 国語国文学編』第二二巻第一号（通巻21号）  
一九八八年3月
- (2) 鈴木胤『雅語訳解』俗語自立語索引（ナ行）  
ワ行）  
『ノートルダム清心女子大学国語国文学科』『古典研究』第一六一号  
一九八八年3月
- (3) 萩原廣道『古言訳解』俗語自立語索引  
『ノートルダム清心女子大学国語国文学科』『古典研究』第一六二号  
一九八九年7月
- (4) 萩原廣道『古言訳解』俗語自立語索引 補遺  
及び訂正  
『ノートルダム清心女子大学国語国文学科』『古典研究』第一六三号  
一九九〇年7月
- (5) 慶応四年・明治元年漢語辞書五種総合索引  
『実践女子大学文学部紀要』第四十二集  
二〇〇〇年3月

(6) 「佐藤茂文庫」創設のいきさつ

『佐藤茂文庫目録』ノートルダム清心女子大学付

二〇〇四年3月

属図書館

4. 解題・書評など

(1) 『古今集てにをは考』解題

ノートルダム清心女子大学古典叢書第3期12

一九八一年10月

(2) 『古今集清濁』解題

ノートルダム清心女子大学古典叢書第3期17

一九八四年1月

(3) 解説「訳語の生成過程と語彙調査の試み」

森岡健二著『現代語研究シリーズ1 語彙の形成』

一九八七年6月

(4) 「書評」金沢裕之『近代大阪語変遷の研究』

『岡大文論稿』二十七

一九九九年3月

(5) 「紹介」幕末・明治期英和・和英辞書

『Library Mate』二十二号 実践女子大学図書

一九九九年7月

(6) 「書評」飛田良文『明治生まれの日本語』

公明新聞八月十九日朝刊

二〇〇二年8月

(7) 「書評」村山昌俊『明治時代語論考』

『國學院雑誌』第一〇五巻第一〇号 國學院大學

二〇〇四年10月

(8) 「書評」木村一『和英語林集成の研究』

『日本語の研究』第十二巻三号

二〇一六年7月

5. 口頭発表・講演

(1) 官長、『古今集遠鏡』における口語訳

上智大学国文学総会 於上智大学

一九八一年1月

(2) 『古今集遠鏡』におけるテニヲハの口語訳について

岡山国語談話会 第八一回 於岡山大学

一九八二年7月

(3) 欧文直訳体における人称代名詞の訳語について

国語語彙史研究会 第一四回 於大阪大学

一九八三年9月

(4) 明治期の学術用語の造語法―『工学字彙』の

岡山国語談話会 第一〇一回 於岡山大学

一九八四年7月

用語を中心として―

- (5) 明治期の専門用語と漢字  
岡山国語談話会 第一一九回 於岡山大学 一九八六年三月
- (6) 鈴木胤 『雅語訳解』の俗語の性格  
近代語研究会 第五三回 於南山大学 一九八七年十月
- (7) 雅俗対訳辞書類の俗語の性格―鈴木胤 『雅語訳解』を資料として―  
岡山国語談話会 第一三七回 於岡山大学 一九八七年十一月
- (8) 雅俗対訳辞書類の俗語の性格―萩原廣道 『古言訳解』を資料として―  
国語学会中国四国支部第三三回大会 於岡山大 一九八八年十一月
- (9) 国語資料としての『雅語訳解』  
鈴木胤学会 於離屋会館 一九九〇年六月
- (10) 生田長江編 『文学新語小辞典』(大正二年)の性格  
国語語彙史研究会 於奈良教育大学 一九九一年九月
- (11) 近代文学用語「小説」の成立について  
岡山国語談話会 第一九三回 於就実大学 一九九三年四月
- (12) 国語資料としての『訓訳示蒙』 「訳」言  
近代語研究会 第一〇四回 於立命館大学 一九九三年五月
- (13) 『言海』と近世辞書  
創立五十周年記念国語学会 平成六年度春期大会 於東京大学 一九九四年六月
- (14) 『言海』の編纂過程と編纂資料『和訓栞』後編  
近代語研究会夏合宿 於富士見高原 上野邸 一九九四年八月
- (15) 明治二、三〇年代の「です」をめぐって  
岡山国語談話会 第二二二回 於岡山大学教育 一九九五年三月
- (16) 『訓訳示蒙』における「うず」の位置  
岡山国語談話会 二二二回 於岡山大学教育学部 一九九七年三月
- (17) 近代辞書と漢語・漢字〔講演〕  
語彙・辞書研究会第三〇回記念シンポジウム 二〇〇六年十一月
- (18) 『言海』のネコ―辞書史における近世と近代―〔講演〕  
実践国文科会総会における講演 二〇〇八年四月

- (19) ケンブリッジ大学図書館蔵 アストン・コレク  
ションについてー日本語研究資料を中心にー  
近代語研究会 第三二四回 於実践女子大学 二〇一五年6月
- (20) 日本語研究資料としてのケンブリッジ大学  
近代語研究会 図書館蔵アストン・コレク  
ション〔講演〕  
第三三三回 於明治大学駿河台キャンパス 二〇一六年5月
- (21) 日本語研究資料としてのケンブリッジ大学図  
書館蔵 (Aston Collection)、アーネスト・  
サトウ自筆資料「日本語反古切樟脳包」、  
「節用集貼込帖」、「和玉篇貼帖」について  
中部日本・日本語学研究会 第七二回 於刈谷 二〇一六年11月  
市産業文化センター
- (22) 語彙史研究資料としての山田武太郎『日本大  
辞書』ー「●言専用」「▲方言、俚語」の見  
出し語彙を中心にー  
大阪大学豊中キャンパス 二〇一八年4月
6. 科研費等共同研究
- (1) 特定研究 (1)「情報化社会における言語の標準化」(研究課題番号58107016) 内の「日本語の正  
書法及び造語法とそのあり方」(研究代表者 林大)における「造語法に関する研究」に関して「明  
治期専門術語の語構成」(森岡健二グループ)の研究を分担(『工学字彙』)  
一九八二年、  
一九八三年
- (2) データベース科研 和歌語彙データベース作成委員会(代表 西端幸雄)の一員として「和歌語  
彙データベース」を共同で構築  
一九九二年、  
一九九四年
- (3) 新プログラム研究として国立国語研究所を中心とする「国際社会における日本語についての総合  
的研究」(代表者 水谷修)が開始され、第四班「情報発信のための言語資源の整備に関する研究」  
(分担者甲斐睦朗)に属する「日本語コーパスの作成とその活用」(分担者梶原滉太郎)に参加。  
一九九四年

(4) 『用例採集のための主要文学作品目録』 国語 辞典編集準備資料二 国立国語研究所辞典編集準備室

(5) 『国定読本用語総覧1』 イエスシ読本 国立国語研究所編（一九八〇年から一九八二年までの用例採集作業を担当） 三省堂

(6) 『国定読本用語総覧2』 ハタタコ読本 ありて 国立国語研究所編（一九八一年から一九八二年までの単位切り作業を担当） 三省堂

(7) 『国定読本用語総覧3』 ハタタコ読本 とらん 国立国語研究所編（一九八一年から一九八二年までの単位切り作業を担当） 三省堂

(8) スカウト式用例採集通信研究員として、国立国語研究所辞典編集室が進めていたスカウト式用例採集事業（主に明治期の雑誌『太陽』を中としてこれまでに50万用例が収集されている）に参加。

7. 辞典等項目執筆

(1) 『日本国語大辞典 第二版』のための用例採集・用例選択・項目執筆・類義語欄執筆・語史欄項目選定・語史欄項目執筆を担当

(2) 『集英社 国語辞典』の一般項目の執筆

(3) 『日本語あれこれ事典』の「聖域なき改革の「聖域」ってそもそも何のこと?」「ぱびふへぱの「」。(半濁音符)の記号はいつできたの?」「外来語を片仮名で表記するのはいつごろから?」「文節を考案した人は?」の項を執筆

集英社

『日本語学』一一号 臨時増刊号

小学館一九九一年〜二〇〇〇年  
一九九三年2月  
二〇〇二年11月



(4) 『日本語学研究事典』(『改正増補和訳英辞書』・『附音挿図英和字彙』・『帝国文学』・『早稲田文学』)  
明治書院  
二〇〇七年1月

(5) 『日本語大事典』(『解体新書』・『近代語の成立』・『前野良沢』・『本木昌造』・『森岡健二』・『蘭学』・『蘭学階梯』・『蘭学弁髦』の項目)  
朝倉書店  
二〇一四年11月

(6) 『日本語学大辞典』(『大槻文彦』・『言海』・『大日本国語辞典』・『翻訳語』・『森岡健二』の項目)  
東京堂書店  
二〇一八年10月

## 8. 公民館等活動

(1) 式亭三馬『浮世風呂』の言葉―江戸語の世界―  
天満屋岡山店  
一九八八年2月

(2) 天草本伊曾保物語を読む―国語史へのいざない―  
瀬戸町公民館  
一九九〇年9月

(3) 萩原廣道と国語学  
倉敷市立水島公民館  
一九九〇年11月

(4) 式亭三馬の滑稽本Ⅰ―浮世風呂―  
岡山市立西大寺公民館  
一九九一年10月

(5) 式亭三馬の滑稽本Ⅱ―浮世床―  
岡山市立西大寺公民館  
一九九二年11月

(6) 天草版伊曾保物語を読む  
岡山市立西大寺公民館  
一九九二年10月

(7) 近松の世話物と上方語Ⅰ  
岡山市立西大寺公民館  
一九九三年10月

(8) 近松の世話物と上方語Ⅱ  
岡山市立西大寺公民館  
一九九三年11月